

1 自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100864		
法人名	長野医療生活協同組合		
事業所名	グループホーム南長池れんげそう		
所在地	長野市南長池831-1		
自己評価作成日	平成30年2月14日	評価結果市町村受理日	平成30年4月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々にできる事、したい事を把握しながら、困難に感じる部分には適切に介入できるように心がけています。日常生活の色々な場面において職員がやってあげるのではなく、一緒にやることを大事にしています。
利用者様本人やご家族と話をしながら、これまでの生活でやってきたことを無理強いににならないように配慮しつつ継続できるように、また、新しく一緒にできることにもチャレンジできるように配慮しています。
地域密着型の施設である事を踏まえ、地域との交流については、少しずつですが地域行事にも参加、認知症サポーター養成講座開催の検討をしたりしています。

事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiyokensaku.nhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kanistrue&JigyosyoCd=2090100864-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	環境福祉事業評価センター
所在地	長野市南高田2丁目5番地16
訪問調査日	平成30年3月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

系列の診療所の隣にあり、訪問看護との連携も取れて医療支援には恵まれた環境の施設である。昨年8月の開所であり、新しく快適な環境になっている。現在は2ユニットあるうちの1ユニットだけを運営しているが4月から2ユニットの運営になる予定である。組合員などのボランティア支援が活発で定期的に食事作り、体操などの支援も利用者を活気づけている。認知症サポーター養成講座の開催も予定されており、今後地域密着型施設としてこの地域の拠点として期待がもたれる施設である。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(れんげそう1丁目)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目: 36,37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目: 28)		